

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	セルフット	公表日 2026 年 3 月 31 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員や発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1		整理整頓を心がけることでスペースの確保に取り組みます
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員配置は適切であるか。	2	2		活動内容によって職員が必要になりますので、今後も職員を増やしていきます
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構築化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	1	3		職員間で周知を行います
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1		職員間で周知を行います
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1		職員会議を増やすことを検討致します
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		外部機関の訪問機会を検討します
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1		定期的にしているが、入社後すぐに受けることができない研修が少ない
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	1		職員間で周知が少ないため、今後行っていきます
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3	1		周知不足のため、職員間で周知を行います
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの個々の利益を考慮した検討が行われているか。	3	1		職員からの意見を募っていきたいです
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	2		周知不足のため、職員間で周知を行います
	15 こどもの適切な行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する際により実施しているか。	2	2		周知不足のため、職員間で周知を行います
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のわらわらび支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	2		主となる職員が決定して活動しているが、今後他の職員にも役割を担っていく予定です
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	1		毎月職員の意見を取り入れているが、会議の機会を増やしていきたい
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	2		打ち合わせの時間が取れない日があるため、余裕をもって行いたい
関係機関や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1		当日に時間が取れない日は翌日に行っているので、臨機応変に対応していきたい
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1		周知不足のため、職員間で周知を行います
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	4			
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、就労等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		周知不足のため、職員間で周知を行います
	26 移行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保護者や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1		周知不足のため、職員間で周知を行います
	(28～30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児発達支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
(31は、事業所のみ回答)					
31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受けられる機会を設けているか。	4				
32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	2		児童児童との交流機会があります	
33 日頃からこどもの状況を保護者と話し合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4				
34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や事後等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			保護者への開催、保護者に向けて勉強会の開催を行いたい	
保護者への説明等	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	2		周知不足のため、職員間で周知を行います
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの発達への影響の観点から、必要に応じて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	2		周知不足のため、職員間で周知を行います
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の問題を尋ねているか。	4			
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、相談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4			今年度は保護者会の開催、保護者に向けて勉強会の開催が難しくなかったので、今年度は開催する予定です
	40 こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備することともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	41 定期的に、連絡等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動状況や予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	3		SNSからの情報発信が少ないため、今後取り入れていく予定です
	42 個人情報等の取扱いに十分留意しているか。	4			
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	2	2		事業所の行事を年に一回開催しています
非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	46 業務継続計画 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	47 事前に、施設や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか。	4			
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4				
51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	3	1		周知不足のため、職員間で周知を行います	
52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4				
53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4				